

第1回 世田谷区本庁舎等における区民利用・交流拠点施設 事業運営委員会 みどり部会			
開催日時	令和8年5月15日（金） 午後6時30分 ～午後8時30分		場所 梅丘パークホール
出席委員 （敬称略、五十音順）	委員	中間支援組織	公益財団法人世田谷トラストまちづくり 荒井委員
			公益財団法人世田谷トラストまちづくり 松本委員
		区内活動団体	大坪委員、湧口委員
		学生（若者）	堀委員、松澤委員
		行政	伊藤委員、笠原委員、北村委員
事務局	市民活動推進課		榎本、杉藤
	運営事業者		上遠野施設長、本田副施設長、福永 栗本、佐藤、山下、松下
議題	（1）報告案件 ①準備会から委員会への引継ぎ事項 ア．施設運営にあたっての確認事項 イ．準備会での主な議題 ②開設までのスケジュール及び部会での主な議題について ③4月7日事業運営委員会の報告 （2）審議案件 ①オープニングイベント（みどり活動）の企画（参画）検討、全体振付 ②庁舎の緑化状況と区民参加について （3）次回の日程等		

（１）報告案件

○部会開催背景：

本部会は、１１月３日（火祝）にグランドオープンする区民利用・交流拠点施設の開設に向け、準備会で整理された方針・検討内容を引き継ぎ、事業運営委員会と連動・協力しながら運営や活用方法を具体化することを目的として設置されたものであり、委員全員で以下の主要な役割を確認した。

- ・施設の魅力と繋がり高め、利用を広げるための企画支援を行う。
- ・施設の利用状況把握と課題・活性化策の検討をする。
- ・部会メンバーのネットワークを活かした参画体制の拡大を図る。
- ・運営事業者への助言と方向性の提示を行う。

①準備会から委員会への引継ぎ事項

伊藤委員から説明を行い、準備会から事業運営委員会への引継ぎ項目について、以下の通り全委員で認識を共有した。【資料No.3、4】

ア．施設運営にあたっての基本確認事項

【場づくりに関する事項】

No.1：原則無料・予約不要・営利可能な場づくり

No.2：定期的かつ魅力的なイベントの実施・気軽に立ち寄れる場づくり

【運営方法に関する事項】

No.3：柔軟に見直し（トライアンドエラー）が可能な施設運営

No.4：チャレンジ・バージョンアップ・マッチング

【成果・交流に関する事項】

No.5：区民、団体、区職員がオープンな活動に参加し、交流や協働を育み、課題解決に寄与

No.6：区及び運営事業者が中心となって、区民、団体、区をつなぐ

イ．準備会での主な議題

○施設の位置づけ、機能

令和6年12月から令和8年2月まで計5回開催した準備会で議論している内容について、配布資料4に記載されている旨説明。

②開設までのスケジュール及び部会での主な議題について【資料No.5】

本田副施設長から説明を行い、区民利用・交流拠点施設開設までのスケジュール及び部会での主な議案について、以下の通り全委員で認識を共有した。

1．オープニングイベント期間における公用予約及び参加表明団体の開催希望内容を確認した。

2．オープニングイベント参加団体交流会開催

・開催日：2026年4月26日（日）13：00～

・交流会参加団体数：20団体、参加者25名

（※オープニングイベント参加希望団体数：交流会時点で30団体）

- ・参加団体が自ら企画を提案し、施設全体で協力しながらイベントを作り上げる体制の検討を行った。

- ・6つのテーマグループに分かれて意見交換を実施した。

3. オープニングイベント実行委員会の提案

- ・事業運営委員会及び参加団体より実行委員会設置の要望があったことを受け、実行委員会の活動イメージについて説明を行うとともに、部会委員に対し参画を依頼した。

(2) 審議案件

本田副施設長、マッチングコーディネーター福永氏から説明を行い、各審議案件について委員と意見交換を実施した。

審議①：オープニングイベント（みどり活動）の企画（参画）検討及び意見交換で見た課題

○委員からの主な意見及び提案に対する事務局からの回答、要望・意見交換から出た課題は以下の通り。

1. 意見及び提案

- ・交流拠点のオープニングイベントの立ち位置として、どのような方向で考えているのか教えてほしい。

（回答）：実働部隊としての実行委員会にてオープニングイベントを進めていく。部会は実行委員会で出た具体的なイベントアイデアに対して進言や助言をお願いしたい。

- ・屋上庭園に対する目標や方向性、どのような屋上庭園にしたいかビジョンが不明確。

（回答）：屋上庭園に限らず、交流拠点はインキュベーション施設をイメージしている。多くの団体の役に立つ施設にしたいと考え、施設に集まる人々が多岐にわたり活動できる実践の場にしていきたい。

- ・区民花壇に植える花は、区民に花を選択してもらうのか。

（回答）：現在ワークショップを開催しながら実施方法を検討中である。種類は決定していないため、花をそれぞれ持ち寄ることなど含め運営を考えている。

- ・屋上庭園だけでなく庁舎周辺のケヤキ並木や広場を含めた交流拠点全体として、みどりを通じた活動のハブとなることを期待する。

- ・屋上庭園含め区庁舎をみどりの学び場として提供できるのではないかと。

- ・みどり活動を区民に知ってもらうため、各農業公園の余剰作物を交流拠点に持ち寄り、配布が可能である。

- ・みどり団体は既存の活動フィールドがあることや活動資源の制約があるため、拠点側からの誘致だけでなく、世田谷らしいものが垣間見える仕掛けづくりが必要である。

- ・屋上庭園を利用して、何かしらの求心力を見出した方が良い。

- ・屋上庭園含め、植栽に関する区民参加の具体的な方法と範囲が不明確。

- ・区民花壇ではなく畑にし、世田谷らしさを前面に出せる野菜を取り入れるといいのではないかと。

- ・世田谷らしいものが垣間見える仕掛けづくりをみんなで考える必要がある。
- ・屋上花壇の花の植え替えを定期的に行うことで、季節の模様替えを楽しめる。

2. 要望

- ・交流拠点内に、みどり関係団体の活動PRする場を設けたい。
- ・屋上庭園の樹木に関する情報発信することで、興味を示す団体が増える。
- ・「落ち葉ひろいりレー」を区庁舎も会場にし、オープニングイベントにドッキングすることによりPRにもつながる。

3. 意見交換で出た課題

- ・オープニングイベントの具体的な目標設定と継続性の確保が困難なのではないか。
- ・みどり団体は各団体が活動フィールドでの課題対応に取り組んでおり、予算や人員の制約もあることから、区庁舎屋上庭園での企画への参画はハードルが高いのではないか。
- ・屋上庭園管理を1つの団体だけが担うことがいいことなのか。

審議②：庁舎の緑化状況と区民参加について

北村委員より庁舎敷地の緑化の概略、東棟屋上庭園の設計コンセプトを説明した。また、これまで庁舎管理担当課で実施したワークショップを紹介するとともに、今後区民参加を促すための策を検討した。

委員からの主な意見及び提案に対する事務局からの回答、要望・意見交換から出た課題は以下の通り。

1. 意見及び提案

- ・区民が「見て楽しい」と思える花壇にするため、花が咲いた状態で花壇に植える方法の方が退屈な場所に見えないのではないか。

（回答）：区民花壇の方針については検討中であるが、ポットを花壇に植えるか種を蒔いて一から育てる方法の2種だと考えている。

- ・区民団体及び区民が長く参加可能な具体的な施策を実施した方が良い。
- ・マイクロコモンズ（小規模な管理・利活用）とすることで区民にも責任をもって花壇の財産管理を担ってもらいたいが、みどり団体にも協力してもらう必要がある。
- ・庭づくりや剪定に興味を持つ若者も多数いるため、大学の授業や実習の場として区庁舎を活用し、みどりイベントに学生ボランティアに参加してもらうことで若年層の参加が増え担い手に繋がるのではないか。
- ・屋上庭園を責任をもって管理していくためには、まず適切な運営体制を整えたうえで、地域のみどり活動に関心のある団体や個人に参画を呼び掛ける必要がある。

2. 要望

- ・エディブル野菜等の活用は魅力的であり、屋上庭園で育てた野菜を活用した料理をふるまうイベントも開催していきたい。

- ・屋上花壇に区民が植えた草花の情報をキャッチーに掲示することで、活動の広報と花壇の様子を把握することができるのではないか。
- ・みどり関連のボランティアに関して、みどり活動に若い世代が関心を持つきっかけになる可能性があるため参加したい。

3. 意見交換で出た課題

- ・区民参加によるワークショップ形式での植栽活動を実施する方向性を確認したが、区民参加型の屋上庭園として誰が維持管理含め担っていくのか。
- ・みどり活動に参加したいと考える人は多数いるはずだが、日常管理や運営側との関わり方に不安を抱く人も少なくないため、屋上庭園施策へ参加を促す広報が課題となる。
- ・動画やSNSで広報活動を実施しているが、広く周知できずに活動参画までに至らない。

(4) 審議による決定事項

1. オープニングイベント実行委員会の設置を決定し、部会メンバーからの参加を募ることとした。
2. 屋上庭園の花壇について、区民参加によるワークショップ形式での植栽を検討し、季節に応じた植え替えを実施することを目指す。
3. 緑化活動における市民団体との連携を強化し、各団体の専門性を活かした協働事業を推進する必要があることを認識した。
4. 次回みどり部会を7月中旬に開催し、オープニングイベントの具体的なアイデアについて部会委員よりプレゼンしてもらう時間を設けることとした。